

吹塵抄

養老後錄之内



特別
14
1919
733



持
1919
116
733

吹蓬抄

一丈丈夫生きと五株と念

ハナハハ死して五株に念

うらやま

一得意淡然 生意恭然



一 静安光陰最好閑中
氣味偏長

一 淡泊以明志寧靜以致
遠

一 男主人のたより

身はしつて思ふは川
流にまよふはかたの
んびあすんびとて
さかすかしくはあま

一 凡にものあかりき比の雲の帯
たもやたふすのけとぎん

一 竹間一縷疎烟松外数

聲清磬

一 あり有氣無生草木有生

與知禽獸有知無義人

有生有知且義 荀子

一 繡衾香暖合欵床玉漏

香沈夜正長月半棲鳥

啼少定人何何安 五更

示

日星山表

一街頭狗吠情何急
春風白
合歡期北自依頭
牡跨背却
似市豹渡河時
玉臺終餘
醇醪密酒
瓶執寸春
珊瑚枝

漸入佳境款應熟
苗身如
背轉在樹
一轉從連接
而歎八足狀
金方
廢地揚
杖飛去
鴉蜂固持
欲放進
公子馬上偷眠已
佳人轎中言

着る彼氏道巡難有の道良難

極の能馳幸因傷人催益有

雲飛る散各分難 秋玉山歌心
物交歌

一唐くいの帝あり望を以入

も感ふ志路々末を危のみ

一席の子をどう信るに入るも思ふ

あけしといひし人あ 日暮時

一書画工数筆術者片言傳る

一經半咒動得千金文士刻

精鉢心不保人一瞬听士也賤

何獨在茲

一 秋風清、秋月明、落葉聚
遙散、寒鴉棲、復驚、相思
相見、切何日、此時、此夜、能
為情

李白三五七六

一 清江一曲抱村流、長夏江
村事、幽興、自去、自來、梁上
燕、相親、相近、少年、鴻、老
妻、畫紙、為、碁、白、稚子、敲、針
作、釣、鉤、多、病、所、須、惟、燕、地

微軀此外更何求

杜甫

一酒冷步移獨流乾月斜

額吹將潤雪吹亦為吟人

意揮撒徑中亦敢錄

山陽

一混卯沈耶、象天地先、曾

乎冥乎冥生自然無見無

少者有無後匪到匪強

守甬柔弱無尾也則不

知所持與顛也則不知所

迎、有殺有匡者吾知其為外
有餐有饑者吾知其為鬼
死魚在、果此何物歟、吾親
知其因大帶之醉身、則李
青蓮之醉神也 題法卷
附寫

一 無画無的揚一、不看未青
畫里黃、這中風政涼、平
冷、榜固執坤、雪又、露
唐新起白紙

一 醉ひぬるをも見生は天へど唯獨
たぬたる人もをわかくがや

一 海行者美都久成山行者草
年終成 大皇乃淑雨許當死
未、可契里見波勢自、

一 書牕中の机淨櫛、缺く可く
そのは香る沈の香を燃すは花香

と聴くは若かす、花香を聴くは
茗香と聴くは若かす、茗香を聴
くは墨香と聴くは若かす、墨香
は甘香と聴くは齋にありて色も
或味にありて鼻に伝ひ目も

あぢの瓶とてよ、人景の香と瓶とを

知ぬは、其の墨と語るべし 宋比玉の墨

一筆禿すゝば、塚に退き、紙敗え

ば、焔に反し、硯毀るゝは、瓦礫

に、霞す、唯、墨は、残、珪、函、墨と

墨、の、事、ふ、と、墨、と、生、且、三、物、は、同

一くおくも、神去り、形留まり、墨

ハ有と出む、無ん入り、聲、身、変、る

涙ふらん、む、墨、墨、墨、は、黙、仙、と

花、ま、な、久、く、視、用、あ、ん、れ、尸、解、す

同上

一 蘇長公夢心十六、樂す、と

涼ら井宮夜話	清溪淺水行舟
日暮至臨流濯足	舟及登樓看山
開扉忽送西謝	寤寐不着衣冠
午傳一丈餘秋	晨興半炷名香
月下東階吹笛	隔江山寺夕鐘
花塢尊前微笑	柳陰堤畔吟吟

飛來珍禽自語 乞得名花盛開
 客至汲水烹茶 梅琴聽者如音

●あつ里の軒の板をん其あしと思
 いーちとのは海にぬ月まあり
 ●廿のやうのまとはさしんおはえん
 はしめと物と思ふ身まは初春

胸すもえ 神を洗ひしきれて 火を

入るにこそよき

・ 風吹けばなごらるゝ 枝とみ 破

のまけりし思ふこころは

・ 何事も心にしを思ふとさいかに 涙
のまがたけりし

・ 合にいと 福杖 僅に あり 合に

春風 胎前 あり 飲ん び 一升 あり

おは 雲 間 月 現 たる 寒 澤

逆 躍つ 幽 山 あり

・ 太陽 照 六 合 赫々 萬古 如 火

塊 千 葉 里 照 暈 有 群 生

三吾係皇統、君臣正其名、日胤
承天位、歷々至今榮今原正名

●我命在我不在天、全在人之補

攝老子

●帆是萬里の草、蓮の濠に云く

吾觀和氣、請友以成、降及季世、乃
淫於情、嗟彼草葉、風逝管纓、片言
之要、諷誦是也、嗚也、抱表、幽人之貞、
●川口先達の烟苔賛に云く

南方羽嘉種、惟草之珍、孕精

育秀懷英抱真茗羞歛
甜糕漲其醅春由之夕秋
霜之晨遠客千里窮巷
一身鑽燧梅爰祛愁養神
金門公子玉梅佳人綉色

徐啓元芳絳唇家常之友
美雅具陳無步與賤形影
親蘭佩薰縷美唐書均
丹心雖灰瓜流長新

一青梅十二是倦家下瞰大江

浪淘沙淘去即恩海无边
淘来即恩山更加淘去淘
来其空处谁知候去光如

麻

但续浪淘沙词

一川上着水晴解红在层

志弯：初弦月艳下媚香
寒岸远行人小村出
独树团噪舟沙岸立
秋水正漫下

秋山玉山

一玄海秋高轉渺兀長天
回首一憑舷溟濛欲動朝
鮮色香齋終今日木天
風捲怒濤鯨背起月含
層楫啓之懸愁心夜々

聞鄉夢魚雁音書何處

傳紀德民

一春風倚棹逝長河弔古
登高句慨多仙蹤點蒼
看若臥龍名赫年絕少

人迹云飞林外响啼雨
叶腐梧叶落照波村
啼尔切当恨隔烟霏
唱采茶歌

此公美

一妾心如浣素郎心如洗红

浣素、愈白洗红、渐只

秋玉山古香

一夫嶽削成十二重、却年春
羅列壁群峯千年老
柏栖黃鶴百尺无流掛

白龍星落時看天狗舞

雲低常獲異人蹤真一室

地古多祥景東海誰言

無代山宗 石山狩如義山

一 釣合名九代 采中 播木此 の記

一 花さりと思ひ出ま人皆さし

一 大佛に脇のるき深しとよ

一 山魁の木魁是るそ松の角

一 釣鐘の音にぬんを極くよ

一 とち行く灯や海とんと福屋袖

一 此の凡は及ぶぬこも多かるき
心まきそくそせじが心

一 下見んば我れまきそく考ら
いよとくそ見よ天の高きを

一 我とまよふま心捨る見よ大子

世界まはるの事

一 我とりふ心の鬼か暮りまは何を

福は内よ入るま

一 申運ぬはこしるまを事運る
足る事運る身あはれ

二代の守本号ながぬれば我人
ともい飯とけしき

・我尾は書天井に地のあし
月口をあき風と手ばしき

・若くは成り為さぬは成らぬ

成る業を成らぬとまぬは我か
為さぬき

・追善に細羅をやくし金の
下切りたやすまけさるやすか
・恥をいん恥をわくは恥なく

恥に思きたる恥はあはれし

一人多き人の中にも人をまじりと
まじ人、人ともを人

つとめをよ又つとめをも勤めをせ
つとめはふぬ、勤めをせ

一寸聖残燈度短更、微茫枕上
未多の、忽に映條翻と去、又
逐々摩、鹿寸と生、梨現梅碗
何處所、雪嬌烟態、天回情
巫山十二未遠、是、散向陽台

作白虎

南海姑春夢

一世人結交須費金黃金不
多交不深海令人然誤智如
許終是悠々以路心
一以宮風靜異香年香

一梅影散水成條長

一天空有聲其夜久悄

光如

一長笛吹笑怨馬痕咳唾

滿地任人拾

山陽蘇東坡贊

一とよりよきといひ秋まつことかいた鬼骨

一あきまつと思ふ心が秋かいの 大に丸

一稲妻や遠きいづら一とこもく 也有

一身といふわづかばくらの家^{あま}

る運ふかたつらうんよ 御宿

一古塘壞道草平遠く將弟は家

安と迷

一國汚す奴あははと大刀抜き

仇もあはぬ塵によらふ 暖流

一國と思ひぬえたる夜のおれ

惟此字奇也 乃劍外分日上

一鬼神冥盈而福過 員、通卦

一酒福在純約、害盈由於驕 潘岳之語

一日月以燈燭乾坤是吾塵

寬肚皮容物、豁眼孔讀書

皇表

一梁竈在市井、閑臥似雲林、心靜

境自靜、人亦受世塵侵、多事此累

行輩、人惟求入山深

一やは肌のあふき血汐に觸れ

せび淋かきや道を説く人 目録子

一 朽は酒とありおひと思ふ所を

月は澄むる

一 山深く何處とあるまじき心の中

身はかゝるけり

一 僧謂酒為般若湯、謂魚為

水校花、鶏為鑽、離菜、是見與

法益、但欺而已、世常笑之、

人有為不義而文之以美名、

者其此何異哉

蘇东坡

一教也者長善而救其失者也 禮記

一極也者有^レあ^レん^レに^レ一^レを^レ以^レて^レ極^レむ^レる^レ也

「善不善に存く悪の誘惑の二つは
女人と女と云ふ」といふ^レは^レ善^レむ^レ言^レふ^レ現

ハヤムこところの誘惑いある、

一讀書三則云々眼到心到身到

一為^レ城^レ頭^レ待^レ死^レ啼^レ杖^レ辱

原上馬頻嘶、^レ人行南去滿

湖北、^レ甘^レ肅^レ臨^レ東^レ來^レ烏^レ羆^レ西^レ百

八棟梁柱著優、三寸桃李
自成蹊、切名利、成白事
燭飲玻璃、碎似淚

耶律楚材

一白髮滄浪上、全忘是此身
秋潭垂釣去、夜月叩船

歸烟影侵葦、岸潮痕
在竹扉、終年狎鷗鳥

未去且與梅

杜牧漁夫

一與親無疎、白氏少與與
與外、從樸自在

一智者不共命聞不共法聞
不共理聞不共勢聞

一雲一傷相之善之聞如許出豈
待至如披衣而後作而耶

冬心方研錄

一子由書孟德事見公奇予既
少而異之以為究畏不懼已者
其理似可信然母未有見虎而
不懼者則斯言之有與終無所
試之然曩余少忠萬事安多

虎有婦人喜，置二少兒沙上，而
浣衣於水者，虎自山上馳來，婦人
倉皇沈水，逾之，二少兒，截沙上自
若，虎熟視之，至以首觸觸，
庶幾其一懼，而兒瘳竟不知。

怪，虎亦卒去，意虎之食人，先被
之以威，而不懼之人，或無從馳
歟，有言虎少食人，必坐守
之，以俟其醒，俟其懼也，有人夜自
外歸，見者相蹲其門，以為猪

狗類也以杖擊之即逸去至山下
月的實則席也。是人死有以勝
席而氣已盡之矣。使人之不懼
若如嬰兒碎人。與其未及知之
時。則席畏之。無足怪者。故書

其末以信于由之說 東坡

皇紀二千六百年、初冬抄了

春城八十二

